



### 公武合体論者 安藤對馬守信正

維新史料國民史料による  
史談寶賢 鈴木光四郎

六月三日  
所可代藩井忠政は幕府の奉  
答書を九條綱白に上り切に呈  
妹和昌の降参を請願した。こ  
の奉答書は次の通りである。  
和昌御方未だ御幼年に被為  
腹且御女子候の御心中に當  
時外人來集の邊只を剛しく被  
思召候との儀御答候。又  
も被為在御不便に思召との  
事。右は御親書の邊段に以  
御尤に奉答候へ共外願結請  
儀の儀は全く貿易と願儀候  
にて候。尤兼て條約も相立  
有之此上超過可致次第にも  
無之。因より御親書の御意

### 勞働法改悪 反對決議

各關係方面の協力を求める

平地區勞働法改悪反對會は二十三日各職團の協力がそ  
平方部のほか小名張、四倉、  
内橋、湯本方面からも代表者  
出席し昨報の如く雨天のため  
二十二日午前十時から藝女  
館に開き同地區議長に大森  
輝二（民労）を推したが同大  
會ではこの決議文を各職團議  
長、縣連出陣議員、縣知事、  
市内各官公廳長に市内各新  
聞社にも協力を求めること  
になった。

### 勤勞所得税 撤廢を要求

連分會務所

勤勞所得税が納付してから  
連分會務所は折衝の細中  
をフライングを掲げて平務  
室に押付け高橋署長に面談を  
要求し「吾々勤勞者は勤勞所得  
税に反対です」とその撤廢  
を要求すれば空論に上つた  
同署長も「勿論私自身も撤  
んと同一のサラリーマンです  
然し勤勞者だけが税金を納む  
のではありません。商店も勤勞  
者も皆な同じく納んで居る  
のです。特に店員さんだけが重  
税だとは思いませんし、又そ  
うもささない考でありません  
と回答すれば「現行の勤勞所得  
税には反対です」とを押し  
引いて引付けて行つた、今

被遊歴と思召候儀に御座候  
間此度の御終極通達之御  
旨光而も已に無之必竟天下  
の御治通第一の御事にも御  
座候御親書の邊段に御座候  
必竟御親書の邊段に御座候  
内の人心に致為致通防禦  
の方儀重の御備に可相成と  
の深重御親書の邊段に御座  
候御右之邊段に御座候御  
被不向奉答候に相成候儀候  
して奉答候事。  
五月二十六日  
安藤對馬守信正  
久世大和守  
内閣紀伊守  
上

しん嶽を九條綱白に賜い七  
月四日附の奉答書に致意  
に過ぎない故に之を酒井忠政  
に返附せしめた。  
向答書に具載は安藤守信正の提  
唱した公武の合体に致意を表  
して次のような意見書を提出  
したのである。  
「岩倉具視の意見書  
前略、幸にも過口以来閣下  
より熱心に和官御親書を再  
三及び御親書の邊段に於て  
は特別出格の御親書を被為  
垂候て閣下之内願を御許答  
被為在公武御一和を天下に  
表示被遊候て満次に御親書  
の大事件は泰閣の上上々御  
行可仕御親書に悉々と御  
次被為在候御親書に於て  
も御延より特別出格の御親書  
を蒙り奉り候儀に付御沙汰  
に背き奉り候儀は出来難仕  
必定御清可仕と奉答候。

簡儀に閣下と御委任の政柄  
を察候と願儀に御親書の御  
方針に被為御親書大政御  
委任の旨に於ては御座候  
年任其儀は朝廷に於て被  
爲座候御親書に相成可申候。  
今日は和官御一身は實に以  
て九期よりも重く被遊候儀  
而御親書の内願御許答可被  
爲在と不致為在御親書の  
御入學と乍奉答候。  
御親書の御めと被遊召和官  
へ御親書御納納御被遊召儀  
得者閣下御親書の御親書  
許答の御沙汰可被遊通達と  
奉答候。  
右者不禮意かん言上仕候。  
頓首謹上  
以上のように岩倉具視は和  
宮の降参が最も平和的に閣下  
事情を解決するものであると  
主張したのである。

平高女校に  
賊見舞、  
至急譲渡  
電蓄 一台  
米 倉  
平高女校に  
至急譲渡  
電蓄 一台  
米 倉

列車に跳られ  
老爺即死  
早切

花賭博二件  
新田目醫院

**私の好きなものは**

終戦後世の中がガ  
ラリと一變、人々  
の思想にも大きな  
影響が及ぶた、サ  
テ今日唱えられる  
人物は、政黨はど  
んなものか又政黨  
は、  
以下は本社の趣味  
好きな人物及び政  
黨の三問に對する  
回答であるが、こ  
にも世の動きが  
にじみ出ている  
とみられる。

× × × × ×

**課題**

一、趣味は  
二、好きな人物は  
三、好きな政黨は

平務所組事務室支部  
斗争推進班 友部信一  
一、卓球、野球  
二、ソクラテス  
三、支持すべき政黨なし  
引揚者藤城勝彌  
横山雅則  
一、政黨（歴史もの）  
二、良寛和尚  
三、全部御座り来ない  
平ボスターマンクラブ會長  
山家重三  
一、政黨（ボスター）と映語（洋語）  
二、東郷青児（畫家）  
三、なし

木村浩教  
縣ハッパ組推進支部  
一、政黨スポーツ  
二、西郷隆盛（太鼓の趣が好  
き）  
三、何れもたよりない（へて  
云うなら今度は自由黨に  
ちつともらいたいと云ふ  
處  
平製ハッパ組推進支部  
上田 清  
一、政黨（亂黨）映語  
二、山本有三（作風に依る）  
三、特になし  
藤原隆會、白城支部  
鈴木基之  
一、スポーツ（テニス）  
二、石城文郡の清野正十郎  
三、世話をする（無）

花賭博二件  
湯本町小沼口之作（三六）は  
二十日夜自宅で赤川七郎様か  
六名と及全町古物園馬場定  
（三九）は二十日夜自宅で  
青山山陰（四八）ほか一名と  
花賭博賭博中を被遊（無）  
最高給待遇本人來談  
藤本隆典  
喫茶店 第一紅山齋

肥後公助 鶴沼敬子  
一、花菜油（飛樂）  
二、神近市子  
三、労働者の生活を向上させ  
被遊にすること出  
来る黨派  
肥後公助 中澤正明  
一、斗争的な体骨  
二、妻と佐倉幸五郎  
三、なし

訂正 既報四小學校の  
放水事件について消火したの  
は被遊が、現金を盗まれた  
たのは新田先生であつた

神、經、科 15  
内科 精神科  
平務所 アラタ  
新田目醫院